

2022年10月

白井なおこ レポート VOL.16

日野・生活者ネットワークニュース 白井なおこREPORT 発行日：2022年10月15日
発行：日野・生活者ネットワーク 発行責任者：出沼恵美子
〒191-0062 日野市多摩平2-3-12中央日石ビル4階
TEL:042-514-8695 FAX:042-514-8697 E-mail:hino-net@cap.ocn.ne.jp



町田市バイオエネルギーセンターをネットの仲間と視察(7月14日)
燃やせるごみの一部をメタン発酵し、発生したバイオガスによる
発電を行っている

みずから【自ら・水から】守ろう！ 今こそ自助・共助を支える公助を



2019年台風19号から3年が経ちます。あの時皆さんはどのような思いで自らの行動を判断されましたか？そして経験から得たことは何でしょうか。自助力を高める公助のあり方という視点で質問しました。

詳しくは下記の二次元バーコードよりご覧ください。

作ってみませんか？ 手作りハザードマップ

市は現在新しい冊子タイプのハザードマップを策定中です。これまで別々だった洪水と土砂災害を一体化することで、よりリアルに危険度を理解できます。策定過程の市民参画は必須ではないかと指摘し、検討を求めました。

さらにつくった後は、市の職員が各地域を説明にまわるだけでなく、実際に地域ならではの情報を盛り込んだ手作りハザードマップのワークショップを開催することを提案しました。

「自助・共助・公助」言い古された言葉のようですが、これは災害時だけではなく、日常でも常に問われるものです。市長に考えを問うと、大きな「公助」の中に「自助」「共助」も含まれるという捉え方を示され、共感しました。ぜひ、それを具現化してほしいと願います。

ようやく実現へ！ 雨水タンク設置補助制度

これまで何度も提案しては叶わなかった雨水タンク設置補助制度の創設に、はじめて「検討する」という答弁を得ることができました。雨水の有効活用の他に少しでも貯めることで川への流入を少なくできます。加えて大雨の時はお風呂や洗濯など排水を控えることも、家庭でできる治水対策として呼びかけを提案しました。

一人一人が防災に対する意識を変え、自分にできることに取り組むことは、気候危機対策にも通じます。皆さんとともに知恵を分かち合いながら、いざというときの判断力と行動力を培えるような、日野市らしい自助・共助・公助のネットワークをつくっていきたいと思います。



その他、投票しづらい環境の整備について制度改正も含め質問しました。



投票環境の
質問の記事



日野市の
台風19号の報告書

